

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日：2021年1月16日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、斎藤慎太郎 増田み生久（RCC 記者）		
検証テーマ： コロナ禍のセンター試験、オープニング、東京の感染者、緊急事態宣言直後の週末 世界の感染者、韓国の駐日大使、アメリカの政治情勢、中国にレアアース供給網統制強化の動き 【特集】 コロナの家庭内感染、【特集】 河井案里参院議員に判決へ、全国の感染者		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でのセンター試験 ・ オープニング ・ 東京の感染者 ・ 緊急事態宣言拡大直後の週末 ・ 世界の感染者 ・ 韓国の駐日大使が交代 ・ アメリカの政治情勢 ・ 中国にレアアース供給網統制強化の動き ・ 東京で男性がタイ人女性から強盗 ・ 神奈川県丹沢湖に大型ダンプが転落し運転手が死亡 ・ 【特集】 コロナの家庭内感染 ・ 【特集】 河井案里参院議員に判決へ ・ スポーツ報道 ・ 全国の感染者 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍のセンター試験：結論→特に問題なし <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中でのセンター試験について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。 <p style="color: red;">"ナレ「東京大学では午前8時の開門と同時にマスク姿の受験生が会場に入って行きました、センター試験に代わり今年から始まった大学入学共通テスト、およそ53万5000人が出願し全国681の会場で行われています。」</p> <p style="color: red;">受験生 A「人生一度なので楽しんで受験してきましたと思います。」</p> <p style="color: red;">ナレ「1979年に始まった共通一次から42年、今回の試験ではこれまでと違い、国語数学で記述式の問題が導入される予定でしたが。」</p> <p style="color: red;">萩生田光一（文科相）「安心して受験できる体制を早急に整えることは現時点において困難であり記述式問題は実施せず導入見送りを判断を致しました。」</p> <p style="color: red;">ナレ「一転して見送られる事態、その上、コロナ禍の入試になった今年の受験生は。」</p> <p style="color: red;">受験生 B「あの、情報収集がまあ大事になった、戦い。」</p> <p style="color: red;">受験生 C「家でもマスクして、ちょっと親ともあんまり喋らないようにしていました。」</p> <p style="color: red;">ナレ「大学入試センターは受験生に対してマスクの着用や昼食を自席で取ることを求め、感染防止策を徹底、体調不良の場合、自宅待機を求められるナロ、やむを得ない場合は診断書がなくても二週間後の追試験を受けられるようにしました。こちらは屋久島から鹿児島市内の会場にやってきた受験生たち。口元には勿論マスクが。」</p>		

受験生 D「落ち着いて頑張りたいと思います。」

受験生 E「いい点数とって屋久島に帰りたいです。」 "

"ナレ「北海道稚内市では暴風雪の影響で稚内北星学園大学での 1 日目の私見が全て中止になりました。」

布施茂（稚内北星学園大学事務局長）「初めてのケースなんですけれども北海道の冬ということで仕方がない。」

ナレ「稚内市内の公共交通機関が運休となり受験予定の 73 人の再試験は今月 30 日に行われます、大学入試センターによりますと一日分の再試験は共通試験以降初めてです、明日の試験は通常通り行う予定です。」 "

"ナレ「一方、35 年ぶりに 1m 超えの積雪を観測した富山市では試験開始 2 時間以上前から受験生が続々と会場に入る姿が見られました、大雪で一時市内の公共交通機関は全てストップし、この一週間で車のスタックやスリップ事故が各地で多数発生そのため受験生も時間に余裕を持って行動していました。」

記者「今日は何時に家を出ました。」

受験生 E「今日、6 時過ぎですかね、最近の大雪もあったもんで、車も渋滞するかなと思って。」

受験生 F「心配だったので早めに出ました、いやあ、遅れてたら怖いなというのもあって。」

ナレ「各会場によりますと今日は試験時間変更などのトラブルはなかったということです。」 "

このトピックについて当てられた時間は 204 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし

番組の冒頭で金平キャスターが「先週放送の台湾のオードリー・タン IT 大臣のインタビュー、大変な反響がありました。透明性と情報公開、コロナ対策への希望を感じましたが、三日前の菅首相の記者会見を聞いてその希望が萎えそうになりました。再確認しておきますが、記者会見は国民との対話の場であって政府の一方的発表の場ではありません。」とのコメントしていた。

このシーンに当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・東京の感染者：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「ではニュースです、新型コロナウイルスについて東京都は今日新たに 1809 人の感染を発表しました。」とのコメントおよび日下部キャスターの「厚生労働省によりますと全国の自宅療養者は 3 万人を超えています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「東京都が今日新たに発表した感染者は 1809 人、年代別では 20 代が最も多く 379 人で重症化リスクが高い 65 歳以上の高齢者は 318 人でした。重症者は昨日から 3 人増えて 136 人となっています。」

街の声 A「緊急事態宣言が出ている割には多いのかなと思います。」

街の声 B「中々減らないなあというのがちょっと心配ではありますね。」

ナレ「東京都はこの週末、銀座、新宿、秋葉原の歩行者天国を中止しましたが人出に目立った変化は見られませんでした。一方厚生労働省は全国の自宅療養者について今月 13 日の時点で 30000 人を超えたと発表しました。前の週の 1.7 倍に当たり、東京で病床の使用率が 83%を超えるなど、全国の病床逼迫が背景にあるとみられています。」 "

このトピックについて当てられた時間は 79 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・緊急事態宣言直後の週末：結論→特に問題なし

日下部キャスター「大阪や愛知など 7 府県に緊急事態宣言のエリアが拡大され初めての週末を迎えました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「大阪は新型コロナによる累計の死者数が昨日時点で東京を上回り全国最多の 726 人となりました、危機感が広がる一方で繁華街の人出は極端には減っていないようです。」

街の声 A「テレワークがちょっと出来ないような仕事で、出勤は、していますね」

ナレ「一方で観光地の人では激減しています。神戸の中華街ではいつもなら行列が出来る豚まん専門店も客の姿はまばらです。」

街の声 B「お店、やっていけるのか、っていうくらいには人出いないですね。」

ナレ「京都でも清水寺の参道には人通りが殆どありません、嵐山では多くの土産物店でもシャッターを下ろし、散歩する地元の人姿が見られるだけでした。」

街の声 C「密を避けるとかそういったようなことを考えながらやれば、まあなんとかなるのかなと思いつつ、出てきてはいるんですけども。」

ナレ「京都市東山区の建仁寺では緊急事態宣言の発表を受けて昨日から拝観を休止しています。」 "

"ナレ「緊急事態宣言が出されている岐阜県高山市では観光客の姿は殆ど見られません、岐阜県では今日から時短要請を拡大し、県内すべての飲食店に午後八時までの営業とするよう求めます。」

街の声 D「このままいったら街全体がもう死んでしまうと思う。」

街の声 E「春先よりもね、もっとひどい感じ、どうやって生活していけばいいかっていう感じですよ。」

ナレ「一方、名古屋栄にあるこの焼肉店は去年 4 月に緊急事態宣言が出たあと、ランチの営業をはじめましたが今回の宣言には不安もあると言います。」

渡辺麻美（焼肉ぼんず）「お昼も外で食べるなっていう会社がちょっと増えてきたみたいでしんどいですよね、飲食店からすると」 "

"小川洋（福岡県知事）「来月の 2 月 7 日までになんとしても感染拡大に歯止めをかけなければいけません。」

ナレ「JR 博多駅前広場では福岡県の小川洋知事が不要不急の外出の自粛を道行く人達に呼びかけました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って福岡県は再び緊急事態宣言の対象となりました。携帯電話の位置情報を元に NTT ドコモが集計した JR 博多駅周辺の人で分析では今日は去年の同じ時期に比べると減っています、件は今日から来月 7 日までの間、県内全域の飲食店などに対し営業時間を午後八時までとする時短営業を要請しています。」 "

このトピックについて当てられた時間は 187 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・世界の感染者：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「新型コロナウイルスによる死者が世界全体で 200 万人を超えました。最も多いアメリカでは変異したウィルスが今後主流になる可能性が指摘されています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「アメリカの CDC 疾病対策センターではイギリスで蔓延している変異ウィルスが今年 3 月にも国内で流行している新型コロナウイルスの主流になる可能性がある」と発表しました。これまでのものより感染力が高いことから、急激に拡大し、さらにはパンデミックを悪化させる可能性がある」と指摘しています。」

西村匡史（報告）「こちらの薬局ではワクチンの接種を求める人達の長い列が来ています。」

ナレ「一方イギリスでは病院や大規模施設などで行ってきた新型コロナのワクチン接種が薬局でも始まりました。政府は今後スーパーマーケットでも行い、国民への接種の速度を早めたい考えです。そしてこちらは感染が急拡大している南米ブラジル。ボルソナロ大統領の対策が不十分だとして各地で市民が抗議の意思を示すため鍋を叩く音が響き渡りました。今月ブラジルから日本に入国した男女四人から新型コロナの変異種が見つかっています

が、その四人の出発地とされる北西部アマゾナス集では病床の使用率が 100%になり空軍機で他の週へ患者を移送する事態になっています。」

このトピックについて当てられた時間は 93 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 韓国の駐日大使：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「離任する韓国の南官杓駐日大使が今日午後、帰国しました。離任を前に調整が続いていた菅総理との面会は見送られたということです。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「外交官出身の南大使は一昨年 5 月に着任し日韓関係が極めて深刻な中、徴用工問題などの対応にあたってきましたが、韓日議員連盟の前会長の姜昌一氏と交代することとなりました。」

南官杓（韓国駐日大使）「新しい大使が着任し、両国関係の改善につながる決断がなされることを期待している。」

ナレ「通常、韓国の大使が離任する際は総理大臣に挨拶をしていますが、複数の政府関係者によりますと元慰安婦の賠償判決などを考慮し、菅総理と南大使の面会は見送られたということです。」

このトピックについて当てられた時間は 56 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ アメリカの政治情勢：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「20 日に行われるアメリカ次期大統領の就任式を前にホワイトハウスで引っ越し作業が行われています。」とのコメントを受けて、VTR とともにナレーションによって「胸像を持った人が出てきたのはホワイトハウス、政権交代を前に引っ越し作業が始まりました。トランプ政権時代、中国との対立が激化しましたがホワイトハウスには米中首脳会談の写真も飾っていたのでしょうか、トランプ大統領は 20 日に行われるバイデン氏の大統領就任式への欠席を表明していますが、複数の米メディアはトランプ氏が就任式の当日にワシントン近郊の空軍基地で退任イベントを検討していると報じました。CBS テレビは就任式の当日朝にフロリダ州に向けて最後に大統領専用機に乗る際、軍隊式のイベントを行う計画だとしています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 54 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 中国にレアアース供給網統制強化の動き：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「中国政府は 15 日、ハイテク製品の生産に材料として使われるレアアースについて供給網の統制を強化する条例の草案を公表しました。日本企業に影響が出る可能性があります。」とのコメントを受けて VTR とともにナレーションによって「世界最大のレアアース生産国である中国が 15 日発表した『レアアース管理条例』の草案では生産や製品の流通までのサプライチェーンの全体が適用範囲となっています。また中国はこの条例の制定について国防科学技術産業の発展に重要な意義があり特別に保護するとしています。これはアメリカの対中包囲網への対策の一環とみられ、アメリカにレアアースを使った高性能磁石などを販売する日本企業に影響が出る可能性もあります。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 54 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 【特集】 コロナの家庭内感染：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「特集です、緊急事態宣言が 11 都府県へ拡大する中、今、急増しているのが家庭内感染です。全員が感染した家族や最新の研究事例を取材しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「埼玉県に住む 30 代の女性、中学三年と小学 6 年の息子二人との 3 人家族だ、長男の高校受験を前に今、神経を尖らせているのが新型コロナの家庭内感染だ。食事や入浴の時以外は家でも常にマスクを付けて過ごしている。」

母親（38 歳）「もうとにかく不安だったんです、受験生だし、もしコロナにかかっちゃったらというのと、うちも隣がこう実家なんですけれども母も体調を崩したりして入退院を繰り返したりしている時期だったんで、余計にこの、絶対持ち込めないし、」

ナレ「玄関やテーブルなど家のあちこちにマスクや除菌グッズをおいている、棚には切らさないよう多めの買い置きも。」

母親（38 歳）「マスクが前回亡くなったときのことを考えるとポイポイとは捨てられなくなっちゃったんですけども、ご飯食べた後は一回外したらもう一回つけるのはちょっと嫌だとかやめたほうがいいのかなと思ってそのまま捨ててもう一度新しいのをしてという感じですね。」

ナレ「私見を目前に長男が気をつけていることは。」

中学三年の長男「受験生なんだから、かかったらもう受験も受けられずに終わるかもしれないから、と言われたんで、あまり遊ばないようにとか外出しないように、」

ナレ「この家庭では受験が終わるまでは家族揃っての食事を避けるつもりだという。」

母親（38 歳）「ご飯のときが一番なんか危ないとかって言っているんで、今までここでこう向き合ってご飯を食べていたところをこのカウンターでずっとコチ向きながら食べるっていう。」

ナレ「食べ終わったらすぐに消毒を行う。」

母親（38 歳）「何が何でもかかりたくないです、かからせたくもないし、けどどうしたらいいかわからない、これ以上何をしたらいいのってのの繰り返しです。」

"ナレ「急増する新規感染者のうち感染経路がわかっているなかで最も多いのが家庭内での感染だ。」

小池百合子（東京都知事）「同居する人からの感染者数が著しく増加しており、」

ナレ「東京都では同居人からの感染が先週よりおよそ 10 ポイント増加し、半数以上に達している、外出の機会が多い若者は家庭内にウィルスを持つ鑄込むリスクが高いとされる、このため今年は成人式を中止した自治体が相次いだ、一方で開催を決めた横浜市は。」

日下部正樹（報告）「ええ、この会場の周辺なんですけれども、こういったバリケードのようなものが至るところに置かれていて、フェイスガードをしたですね、警備員の人たちがまあ、交通整理というかな、をしています。」

ナレ「二箇所の会場でそれぞれ四回に分散された典では会話さえも控えるよう呼びかけられた。」

司会「感染拡大防止の為歌うのはお控えください。」

ナレ「国歌は黙って聞くだけ、式典は 15 分ほどで済んだ」

日下部正樹「特に専門家の人の中には戻ってきて家族とか周りの方にこう感染させる可能性、それが怖いと言っ照ですが、どうですか。」

母親「あの、家族間でのマナーっていうのかな、そういうのがしっかりしていれば大丈夫なんじゃないですかなあって思ってるけど。」

娘（新成人）「怖い気持ちもありますね、これだけ人が集まっているので。」

新成人「なんかとりあえず部活の子たちと集合写真取っ手解散っていう感じですかね。」

ナレ「家族への感染を避けるため、祖父母に晴れ姿を見せる際には。」

母親「外でね、ちらっと。」

日下部正樹「色々気を使っているんだ。」

母親「そうですね、やっぱり気を使いますね。」 "

"ナレ「感染経路が判明している新規感染者を年代別に見ると 70 代以下は全て家庭内感染が最も多い、家族全員が感染という事態に直面した女性が取材に応じた。」

家庭内感染の女性 (24 歳)「家族全員が涙してしまうぐらいの絶望感、」 "

(CM)

"家庭内感染の女性 (24 歳)「私が咳が出始めたときに、ちょっと父が体調がちょっとだるくって仕方がないって言い出して、こんなにみんな一斉に風邪を引くなんてちょっと怪しいな、って思ったので。」

ナレ「関東地方に住む 24 歳の女性、先月末、一緒に住む父親、弟の家族 3 人全員が新型コロナに感染した。」

膳場貴子「最初にじゃあご家族のどなたが症状が出たんですか。」

家庭内感染の女性 (24 歳)「弟が最初に発症しましたね。2 日、3 日くらいしてから父に、元々父も都内の方に仕事に出ていたりですか、弟もちょっと外出をしたりっていうところもあって誰が持ってきたのか不明なのではあるんですけども、私はあんまり外には出ないようにしていたので。本当に家庭内でもらってしまったというようなところですね。」

ナレ「気がついたときにはみんなが発症、先月 29 日、検査で全員が要請だということがわかった。」

家庭内感染の女性(24 歳)「頭がこう真っ白になって、これからどうなってしまうんだらうっていう先の見えない不安に襲われてしまって、本当に家族全員が涙してしまうぐらいの絶望感がありました、今更隔離してもしょうがないと思ったので、基本的にその同じ一室とかまあリビングで過ごしてお互いに状況を見ながら過ごすというような形をとっていました。」

ナレ「近くの親戚に食料を届けてもらうことが出来たため、始めは全員が自宅療養を始めた、女性と弟は比較的継承だったが、50 代の父親はみるみるうちに悪化していったという。」

家庭内感染の女性(24 歳)「陽性を受けてから 2 日経った 27 日の朝に歩くだけで息が切れて苦しかったというふうに本人が言っていて、保健所の方にメールで送信した、私が運転して検査に連れて行って、でその日のうちにもう入院したほうがいいだろうという判断で医師から言われたんですが、父はこのまま自分が容態が急変して万が一何かがあったときにどうしようという、親としての色々な気持ちで二人を残していけないということで、ちょっともう涙ながらに入院はできないと頑なに当初は。」

ナレ「その後、女性と弟もホテルでの療養が可能となったため父は入院、だがこんな事情も。」

家庭内感染の女性(24 歳)「家にペットがいたので、すぐに家が空けられないな、と思ったのでコロナ陽性者のためのシェルターみたいなのを提供しているというのも見たんですけども、やっぱり満室では入れませんっていうような状況で。」

膳場貴子「コロナなので預け先を探していますって言ったらなんか向こうもどうしようってなんっちゃいそうですし、預かる側も。」

家庭内感染の女性(24 歳)「ペットのグッズは全部消毒を手袋とあと、ゴミ袋頭からかぶってなるべくつかないように全部消毒をして玄関先にちょっと置かしていただいて(知人に)受け渡し、っていう形にしました。」 "

"ナレ「先週家族は全員自宅に戻れた。以前から玄関先でのアルコール消毒やペーパータオルを使うなど家庭内で対策をしていたが感染を防ぐことの難しさを痛感している。」

家庭内感染の女性(24 歳)「いくら万全に対策をしてもやっぱり誰かが持ってくると水の泡っていうかやっぱり家族全員が意識を持ちながら対策をしていかなきゃいけないので、やっぱりみなさんにこういう生きた心地がないような日々っていうのを過ごしてほしくないなっていう思いがありますね。」 "

"ナレ「一方、こちらの女性は今、家庭内感染に怯えている。」

福岡県に住む女性「本当にびっくりして、自分がそうなるとはまさか思っていなかったの。」

ナレ「福岡県に住む 40 代の女性、職場の同僚が今週新型コロナに感染し、女性は濃厚接触者扱いになり自宅待機となっている、四人家族だが夫は単身赴任となり、二人の子供と三人で暮らしている、しかも長男は高校 3 年生で大学入試が始まる。」

濃厚接触者になった女性(福岡県に住む女性)「息子が今年大学入試なので、受けられなくなるかもしれないっていう不安でいっぱいになりました、絶対に感染させられないですし。」

記者「息子さんにはそのことっていうのは伝えたんですか。」

濃厚接触者になった女性「怒られました。タイミングが悪いと。」

記者「あああ。」

濃厚接触者になった女性「薬学部を目指しているんですけど、毎日勉強しか本当にしてなくて。」

ナレ「これまでも外出から戻ったら手を消毒し、使ったマスクは決まった場所に捨てるなどしてきた、濃厚接触者になった今、特に長男とは極力接触しないようにしている、しかし食事を含む家事全般は自分がやらざるを得ない状況だ。」

濃厚接触者になった女性「私しかする人がいないので、家の中でも家族全員しかもマスクを使うようにして、しかも二重にして、食事は取り分けて出来るだけ家の中でも離れて過ごしました。」

ナレ「抗原検査の結果女性は幸い陰性だったが。」

濃厚接触者になった女性「なんか本当にどこまでしたらいいのかなっていうふうには思います。どこまでこう、徹底したらいいのかわからないです。」

"ナレ「日本で初めて新型コロナの感染が確認されてから昨日で一年、賀来満夫特任教授は感染対策について認識を改めないといけない、と話す。」

賀来満夫(東北医科薬科大学特任教授)「まあ接触感染対策は勿論なんですけれども、より飛沫感染対策、より空気中にウィルスがたくさんふわふわ飛んでいるものをどう、ブロックできるか、どういうふうなそこを制御できるか、このポイントが今非常に注目されています。」

ナレ「さらに去年 11 月家庭内の飛沫感染のリスクについて、注目すべき論文が発表された。」

(CM)

"ナレ「去年 11 月、イギリスの医学誌に注目される論文が掲載された。シンガポールで家庭内感染したケースを分析したものだ。大きなリスクとされたのが寝室の共有、マスク無しの感染者との 30 分以上の会話、の 2 点だ。」

賀来満夫「当初の頃はまあ感染対策ってやっぱり手洗いとか接触するところっていうのが非常に大きなポイントだっって言われていたんですけど、昨年を通じてどういう状態で移りやすいのか、それは会話によって写っていく、菌型コロナウィルスの感染経路のメインは飛沫感染だ、。」

ナレ「理化学研究所はスーパーコンピューター富嶽を使い飛沫の飛び方などを分析してきた。これは強い咳を 2 回したときの飛沫だサイズが大きい赤い飛沫はすぐに地面に落ちるが、小さい青い飛沫は空気中を長時間浮遊する、一方会話をしているときはあまり飛沫が飛んでいないように見える、ところが会話を三分間続けると咳を一回した時と同じ程度の飛沫が発生するという。更にこの飛沫の飛び方が湿度によって変化し、今の乾燥した時期は感染リスクが高まるのがわかった。湿度 90% の場合机の上に落ちる大きな飛沫が多い、一方、湿度 30% だと、飛沫の水分がすぐに蒸発して小さな粒子となり向かい側の人に達する量が増える、1.8 メートル先にいる人に到達する飛沫の数は 2 倍以上にもなるのがわかった、飛沫の粒子が小さくなるとウィルスが体内に入るリスクも高まるという。」

"賀来満夫「大きな粒子ですと、この鼻とか喉の繊毛に引っかかるんですけど非常に乾燥して粒子が水分を含

んでいないと、非常に細か穴粒子で繊毛に引っかからないで肺の置くまで入ってしまう。」

ナレ「鼻や喉から気管にかけての軌道には免疫や専門があり通常、ホコリやウィルスなどを絡めて、体内への侵入を防ぐ働きをする。しかし、湿度が低いと、繊毛の動きが鈍くなる上に乾燥した小さな飛沫が繊毛をすり抜けて肺に直接入ってしまう。では、飛沫感染の観点から感染予防をする際、留意する点とは何か。」

賀来満夫「お家に帰ってもマスクをするのかという議論はあるんですけども、リスクを下げるために、特に話をするようなときにはお互いにマスクを付けたらとかそういったような工夫が必要になってくると思いますし、それと環境、今まで以上にこの夏場以上に冬場に換気をととにかく注意して部屋のドアを少し空けておくとか、本当に少し寒くないくらいのマドを少し空けておくとか。」

膳場貴子「それでも効果があるんですか。」

賀来満夫「あると思います。やはりそういう意味で窓を少し開けて、少し寒くなったらまた閉めてもいいんですけども。」

"ナレ「自宅療養する感染者が増える中、突然悪化し緊急搬送が間に合わずなくなるケースも問題になっている。」

膳場貴子「家庭内で療養しているときに重症化が起きる、その予兆というのはどのように見つけたらいいんでしょうか。」

賀来満夫「はい、あの、こういう機械がありまして、これパルスオキシメーターっていうんですけども。これはあの指にこう挟んで測定をするんですけども、測定をするとだいたい 98 とか 97,99 というような値が出てきます、息は苦しくないんだけど、この値が下がってきている、それはもしかしたら肺炎が密かに進行している、沈黙の肺炎と言われていて、この測定値が 3 とか 4 下がってくるとやっぱりその予兆になるんですね。」

ナレ「賀来特任教授はこうした予兆があれば入院の準備を急ぐべきだと強調する。」

小池百合子「このパルスオキシメーターというのは自宅療養の方にお届けをする。」

ナレ「昨日、東京都の小池知事は自宅療養者全員に貸与する方針を示した。賀来特任教授は感染の有無に関わらず日頃から自分の酸素飽和度を測るなどしていざというときに備えることを勧めている。」

(CM)

VTR を受けて、スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"膳場貴子「ステイホームと言われて久しいですけども感染拡大でフェーズが変わって講じるべき対策にも変化が起きているようです、この一年のデータの蓄積からわかった科学的知見として、家庭内感染では接触感染以上に飛沫による感染のリスクが高いということが明らかになっているんですね、コロナとの戦いが長引く中でこうした科学的知見やデータを積み重ねることで必要以上に行動に制約を課すことがなく感染を抑える効果を最大限得る生活スタイルについてそれぞれが考えていきたいですし、そして研究も進んでいってほしいと思います。」

日下部正樹「まあ春先は本当に未知のウィルスでね、手探り状態だった頃に比べると、少しずつでもね、何に重点をおいたらいいのかこれがわかってくるだけでも精神的な負担金、大分減りますよね、あと飛沫感染でいえば、空気が乾燥すると飛沫が遠くに飛びやすい、さらに、持続しやすいということですから、換気が非常に大切です、冬場で大変ですけどもこまめな空気の入替え、あと加湿器をこれを使うことも有効だそうです。」

金平茂紀「あのね、考えてみるとステイホームってずっと言われ続けていた中でね、そのホーム、家庭内での感染が広がっているっていう現実から私たちは何を学び取るべきかって考えたらですね、結局はね、家族を大事にしたり、家族を守るためには自分自身が感染源になりうるということを常に自覚してなきゃいけないと、非常に単純なことなんですけれども、このことに近くおよぶことはないですね。」

この特集に当てられた時間は 1321 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】 河井案里参院議員に判決へ：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「では次の特集です。公職選挙法違反に問われている参議院議員の河井案里被告に来週判決が下されます。」とのコメントおよび金平キャスターの「自民党本部から河井陣営へと渡された 1 億 5000 万円は、買収資金として使われていなかったのでしょうか。裁判で明らかになったことを取材しました。」とのコメントをうけて、以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

ナレ「これは 2010 年、民主党政権の時代、報道特集が河井克之被告と妻案里被告の自宅で撮影した映像だ。」

ナレ「河井夫妻は当時野党だった自民党の行く末について話し合っていた。」

河井案里氏「私はね、あの一新党ということは、この時代もう、必然だと思うんです。もう自民党は、私は完全に死んだと思っていますから。」

河井克行氏「そうなんだよね。だからもう、自民党がもう終わった。自民党が役割を終えたということについては、えー自民党の黨員も含めて、積極的に意識しているか、薄々感じているかは別として、おそらく多くの国民が、感じていると思うんですよね。なんとなく。」

"案里氏「身を挺して頑張ってください」

克行氏「身をなげうって？」

案里氏「なげうって」

克行氏「あとはよろしく」

案里氏「はっはっはっはっは。骨は拾います。」"

ナレ「河井夫妻は、今揃って刑事裁判で裁かれる身となった。」

ナレ「事件の舞台は案里被告が出馬した、おとし 7 月の参院選。克行被告は地元議員ら 100 人に、総額およそ 2900 万円を渡し、買収したとして。 杏里被告は、このうちの 5 人について共謀したとして、公職選挙法違反の罪に問われている。」

ナレ「裁判では克行被告と案里被告が、証言台の前に並んで立つ場面もあった。」

ナレ「今週火曜日、東京地裁で、克行被告の様子を見た金平キャスターは」

金平「えええー 本当に久しぶりに 1 メーター くらいの距離で見た河井被告は、克行被告はですね、ものすごく痩せていて、別人のようになってましたけれども、基本的には徹底抗戦というか、何度も何度も証人の発言を聞いてメモを取ったりとか、あるいは弁護団とこう、打ち合わせをしたりして、徹底抗戦のモードっていうのは変わっていませんでしたね。」

ナレ「地元広島では現職議員である二人の、ポスターや看板は撤去され、見かけることはほぼない。撤去作業に当たった秘書は」

"秘書「悲しかったですね。」

記者「こんなはがし方をする日が来るとは？」

秘書「思わないです全然。」

記者「何か所ぐらい、あの・・・」

秘書「もう 1000 箇所以上ですね。」

記者「今一番ね、強く思う事って何かありますか？」

秘書「まあやっぱり、地元の皆さんに、ここまでのね、あの一騒ぎになったこと、また多大なご迷惑をかけたことに対して、申し訳なく思います。心からお詫びをして歩いて行くしかないと思っています。」"

ナレ「先週、広島の有権者にも話を聞いた。」

広島県民 1 「もう広島の恥だね。はよ辞めてほしいわ」

広島県民 1 「僕も案里さんは一回、投票したんだけど、もう完全に裏切られたね。」

広島県民 2 「自民党が、政党助成金をね、使ってやっている」と

広島県民 2 「出した側の自民党も、あの、知らんぷりでしょ。そんなことは許されんですよね。」

ナレ「参議院選広島選挙区は、現職溝辺顕正氏と、案里被告の間で、自民党同士の激しい争いとなっていた。地元広島県連の反対を押し切り、党本部が案里被告を二人目の候補に立てたのだ。」

自民党宮沢洋一広島県連会長「党本部による、溝手さんいじめという印象を正直言って強く持っております」

塩崎恭久元厚労相「逆です。いじめられているのは河井案里さんですから。」

ナレ「仁義なき戦いと呼ばれた激戦。案里陣営には異例とも言える応援が続々入った。当時の菅官房長官」

菅官房長官（当時）「この広島において、安定政権の象徴の県として、何としても、河井案里さん。案里さんを皆さんの力で、しっかりと国会に送っていただきたい。」

ナレ「そして二階幹事長・・・」

自民党二階俊博幹事長「当選の折には、重要な役職にもついてもらおうと思っておりますから、それにふさわしいね、ご支援を是非、地元はこんなに期待しているぞ、ということをお示しいただくような得票を」

ナレ「いずれも複数回広島入りしている。」

安倍晋三首相（当時）「皆さんどうか河井案里、河井案里を最後までどうか皆さんよろしくお願い申し上げます。」

ナレ「当時の安倍総理は、秘書を案里陣営に派遣し、手伝わせる力の入れようだった。」

ナレ「この秘書というのは、桜を見る会の前夜祭を主催した安倍晋三後援会の代表、配川博之公設第一秘書だ。

先月、政治資金規正法違反の罪で、略式起訴されている。」

ナレ「案里陣営にもたらされていたのは、人の応援だけではなかったことが後にわかった。」

ナレ「今回の事件では河井夫妻が100人に、現金をわたして買収たとされている。党本部は夫妻側に選挙資金として、1億5000万円を振り込んでいた。党本部が溝辺氏に振り込んだ額の10倍に当たる。この金は買収の資金に使われていたかどうかで、注目が集まっている。」

記者「案里さん、党本部から1億5000万円もらったんでしょうか？」

案里氏「いただきましたが、違法ではありません。」

ナレ「河井夫妻による買収事件は、広島の政界を大混乱に陥れた。」

ナレ「最初にカメラの前で、克行被告からの現金受け取りを認め、辞職したのは、当時の安芸太田町長だった。」

小坂真治町長（当時）「もらうべきでないものを受け取ったと」

ナレ「その後、当初否定していたにも関わらず、認める政治家が相次いだ。」

ナレ「当時の三原市長は」

広島・三原市天満祥典市長（当時）「昨日ちょうどテレビを見ましてね、びっくりしたとこなんですよ。なぜ出たのかなということね。ちょっと不思議に思いまして、今のところですね、現金授受はないということでございますので・・・」

ナレ「身に覚えがないとしたわずか二日後、一転認めた。」

天満市長（当時）「河井克行氏から、150万円の現金の授受があったことを、この場で申し上げたいと思います。」

ナレ「当時の、安芸高田市長も」

広島安芸高田市児玉浩市長（当時）「そういったことは一切ございませんので。お答えをしたいと思います。」

ナレ「頭を丸めて会見場に現れ、否定し続けたことを謝罪した。」

広島安芸高田市児玉浩市長（当時）「角を立てないように、後日返そうと、預かりますと受け取りました。」

ナレ「裁判が始まると、ノーコメントとしていた議員たちも現金受け取りを次々と認め出した。」

三宅正明広島市議「河井先生に対して、受け取れませんという風にお断り致しましたけれども、いいからということで、現金押し付けられたような形でございます。」

八軒幹夫 広島市議「克行先生に 領収書の宛先はいかがいたしましょうかとお尋ねしたところ、『必要ない。必要な時には、改めてまた申し上げるから』というような回答だったように思います。」

ナレ「金を渡された政治家で、これまでに証人として出廷したのは、27人。このうち3人を除く24人は、現金の趣旨を『選挙応援や、票の取りまとめの依頼などと捉えた』と証言した。」

ナレ「今週火曜日、克行被告の26回目の裁判が開かれた。証人として出廷したのは、石橋竜史広島市議。おとし4月に、広島市議に当選し、翌月、克行被告から 現金30万円を受け取った。去年6月には会見で、涙ながらに謝罪していた。」

石橋市議「有権者の方々へ向けても、本当こういうことで苦しめられる人たち、家族にしてもそうだし、ね、本当、誰一人として増やしてはいけないと、切に思って・・・」

ナレ「裁判の直後、石橋市議に話を聞いた。」

金平「法廷で ですね、実際に河井克行被告、ご覧になっていかがでした？」

石橋氏「ちょっと、一言で言うと衝撃でした。っていうのも、1年以上ですか、お会いしてなくて、すごく痩せていらっしやって、えー、ああいった克行さんをこれまで10年ですか、知り合ってたことがなかったので、それはちょっと、ショックでしたね。驚きました。」

ナレ「法廷で、石橋市議は、克行被告からの現金は、当選祝いと思ったと述べ、買収にあたらないと主張した。」

石橋 市議「えーこのたびは、好成绩で当選おめでとう。これはとっておきなさい。と言って封筒を、もう、本当数十秒とか、もうすぐに出されました。『二人だけの秘密だから』といった形でしたね。はい。」

石橋市議「かたくなに、もう結構です。勘弁してくださいと言ったら、いやいやもうこちらに、ねじ込むという言い方は失礼ですけど、もう事実としてですね、もう強引に入れて来られました。はい。」

ナレ「断りきれなかったのはなぜなのか。」

石橋市議「でも返せるだろうって、よく、ほんと、言われるんですね。でもその国との関係性であったり、パイプであったり、ましてや、本当に、国の一番中枢近くにいらっしやった方なのからか、なかなか私たちも、その関係性を、こう徹底してあらがいながらも、切るまでの選択ができなかったのが、もう本当に実情ですけど。」

ナレ「断りきれなかった理由に、克行被告との立場の違いをあげた議員は多い。」

今田良治市議「河井先生は、あの、総理補佐官です。権力があります。私たちが仕事をするには、国の予算をつけてもらわないといけない。」

伊藤昭善市議「まあ力関係と言いますか、国会議員の先生を窓口に、お願いをしにくくなる環境。これはやはり地方議員としての、地元のね、プラスにはなりませんから、」

ナレ「裁判では、安倍前総理の名前も出てきた。」

ナレ「克行被告が、安倍総理からとって封筒を手渡してきたとこれまでに二人が証言をしている」

海徳裕志広島市議「おもむろに封筒を差し出して、これ総理からと言って帰られました。」

記者「お金の意味は何だと思いましたか？」

海徳市議「お金の意味はやはり票集めだと思います。」

記者「総理という名前を出された時に何か疑問点とかは、思い浮かびませんでしたでしょうか？」

海徳市議「まあ克行被告人が、以前から、首相補佐官とかを務められて、何かにつけ安倍総理の名前を出されていたので、そういう面では、やはりプレッシャーには感じました。」

ナレ「法廷では、この海徳広島市議が、克行被告とのやり取りを IC レコーダーで録音した内容も流された。」
録音記録「県連が何もやってないから、助けてくださいよ先生。河井克行は嫌いかもしれないけど、案里は可愛がって欲しい。じゃあこれ気持ちですから。お邪魔しました。」

ナレ「海徳市議は、なぜ録音をしたのか。」

海徳氏「裁判でもお話ししましたが、広島豪雨災害の時、克行被告が来賓扱いをされませんでした。 それについて、彼が、地方議員で地元選出の私の責任だというように、激怒されまして、夜に事務所に呼びつけられました。で、部屋で『国会議員を敵に回したらどうなるか分かるのか』というように恫喝されました。」

ナレ「法廷で夫のこの振る舞いを聞いた、案里被告は、声を上げて泣きだし、『主人のご無礼をお許してください』と海徳市議に頭を下げた。」

ナレ「1億5千万円について、裁判でどこまで明らかになったのか。陣営で会計を担当していた女性は金の管理について・・・」

案里陣営の会計担当者「お金に関することは、克行被告に決定権がありました。スマホで通帳を撮影して、LINE やメールで克行被告に送っていました。」

ナレ「さらに、検察側が朗読した供述調書では」

案里陣営の会計担当者「選挙期間中、自民党本部からの資金を投入しても、足りないことがあり、克行被告に報告すると、その後党本部から、追加で資金が入金されました。」

ナレ「女性は1億5千万円について、克行被告の当時の政策秘書から、『全て報告書に載せると違反になる』と報告書の記載を分けるよう、伝えられたことも証言した。」

ナレ「裁判官から、『党から選挙に関して、多額のお金が渡されていたのは知っていたか』と問われた案里被告はこう答えた。」

案里被告「いくら頂いているかは知りません。お金の管理は主人だと思います。」

ナレ「票をお金で買う 発想自体ないと、買収を強く否定した案里被告。現金は特別に限定された方々に感謝の気持ちから、当選祝いと陣中見舞いとして渡した、などと述べ、その原資はタンス預金だったと説明している。」

ナレ「1億5000万円の巨額資金は、適正に使われたのか？今週、二階幹事長に質問をぶつけた。」

金平「選挙資金というのは、問題がなく、かつ適正なものであったというお考えでしょうか？」

(CM)

ナレ「河井案里陣営へと分かった1億5000万円もの使い道は、これまでの裁判では明らかにならなかった。」

ナレ「今週二階幹事長に、質問をぶつけた。」

金平「1億5000万円の選挙資金というのは、問題がなく、かつ、適正なものであったというお考えでしょうか？」

二階氏「詳細はあの、今、あー、ここに手元にあるわけでもありませんから、よく慎重に検討してまたお答えします。」

林幹夫幹事長代理「この件に関しましてはですね、前々から申し上げているとおり、」

林幹夫幹事長代理「今、あの一この事件で関係書類が、その、押収されてしまっているの、報告ができていないという状況なものですから、中身が精査できないということになっています。」

ナレ「一方、克行被告から現金を提示されたが、受け取りを拒否した人もいる。広島県大竹市の、入山市長だ。」

ナレ「おととの参院選のおよそ3ヶ月前、克行被告が自宅へ来たという。」

広島県大竹市入山 欣郎市長「自分の妻の案里が参議院議員に立候補すると、ということと、それから自由民主党の公認を得ましたという報告に来たと。 帰り際にね、これをということで、封筒を机の上に置かれたんで、お金かなと思いましたんで、『こんなことで動くんじゃないよと、人は』ということで突き返したという。」

金平「克行被告にもう 1 回会う機会があったら何を言いたいですか？」

入山市長「まだまだ 人生ありますからね、もう 1 回ゼロからやり直して頑張るしかないですよ。」

入山市長「地べたに這いつくばってでも、ね、動くしかないですよ。」

ナレ「そして、来週木曜日、案里被告に判決が言い渡される。」

ナレ「検察側は、前代未聞の極めて悪質な犯行などとして、懲役一年六ヶ月を求刑。」

ナレ「案里被告は、先月 23 日、最終弁論で改めて無罪を主張し、地元有権者にこう訴えた。」

案里被告（吹替）「広島の皆さまには、大変恥ずかしい思いをさせてしまっています。そのことをお許してください。」

ナレ「今案里被告は、どんな思いでいるのか？案里被告の弁護士は」

案里被告の弁護士（ナレ）「最終弁論で述べたことが全てです。ご本人に確認したところ、当分取材に応じる考えはないということでした。申し訳ございませんが、何卒ご理解ください。」

ナレ「夫、克行被告にも取材を申し込んだところ、おとといこう伝えてきた。」

克行被告のコメント吹替「弁護人と協議した結果、裁判中であり、取材には応じないこととさせていただきます。私の主張は裁判を通じて、正々堂々と訴えてまいります。」

ナレ「さらに克行被告に近い関係者によると、『拘置所内で走るなどの運動を続けており、気力体力が充実し、裁判に臨んでいる一方で、妻・案里被告の判決内容を、非常に心配している』という。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されていた、

膳場「では広島のリ、増田ミブヒサ記者と中継で結んでいます。あの、地方と国政との力関係、要は国とのパイプになる人には逆らえない という構図自体がいびつに感じたんですけども、増田さんは地元で取材をされていて、広島の有権者の方の政治に対する想って、どのように感じましたか？」

RCC 増田み生久記者「はい、地元議員などを取材すると、克行被告だけでなく、その後ろにある力に対してプレッシャーを感じていたという人は少なくありません。そもそも地元広島県連が強く反対していた中、党本部が強引に案里被告を立てることができた所にも、中央と地方の大きな力の差を感じています。参院選では大物政治家の応援に加え、選挙戦で案里被告自身が、必死に訴えを重ねて回る姿に、一定の有権者が期待を寄せた事実は確かにありました。それだけに地元ではその反動で生まれた政治不信が極めて大きくなっています。」

日下部「あの一 河合夫妻はもちろんですね、今回の吉川元農水大臣の収賄事件を見てもですね、政治家の金銭感覚というものがいかにこう世間離れしているか、コロナ禍の今だからでしょうか、余計にこう際立って感じられましたけど、」

増田記者「はい、河井夫妻が未だに毎月の歳費やボーナスを、受け取り続けていることにも、多くの有権者は納得していません。裁判中なので推定無罪は尊重されるべきですが、政治家の有罪が確定した時の、歳費返還についての議論が必要だと思います。また今回の事件では、受け渡しの場面は、ほぼ手渡しですが、陣中見舞いなどという言葉がうまく利用されているように感じます。例えば議員の金のやり取りは、記録に残るよう振込を義務付ける。やり取りをしていい時期を規定するなど、ルールを明確にする必要があると思います。」

膳場「金平さんも 裁判取材に行ってますね。」

金平「ええ。あの一これね、河井案里議員の選挙運動のポスターなんですけどねこれ。こういう風に当時官房長官だった菅さんと並んでますけれどもね。政治とカネということで言えばね、先ほどあの日下部さんが言ったように、菅首相がですね、昨日ね、鶏卵業者からの収賄罪で吉川元農水大臣が在宅起訴されたことを受けてですね、『大変残念です』っていう風に言っていましたけれども、まるで他人事ですよ。そもそもこの事件というのは河合被告の家宅捜索でですね、事件の端緒となったということで、この事件が摘発されたわけで、今のような政府の姿勢ではですね、時短に応じなかったら罰金だ。とか、感染症法対策の改正案で、懲役刑とか罰金刑を科すと

かね、なんだかどの口が言ってんだというような、頭がクラクラするほどの政治の腐敗というのをですね、感じるということを申し上げておきたいと思います。」

膳場「以上、RCC 増田記者とともにお伝えしました。特集でした。」

この特集について当てられた時間は 1500 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・全国の感染者：結論→特に問題なし

全国の感染者について膳場キャスターによって「さて、新型コロナについて全国では今日これまでに 6918 人の感染が発表されています。緊急事態宣言が出ている 11 の都府県では埼玉県と福岡県で一日の感染者数で過去最多を更新、山口県も過去最多です。また長崎県は長崎市に対し、件独自の緊急事態宣言を発表しました。厚労省によりますと全国の重症者は前の日から 31 人増えて 965 人となりました。病床の使用率は 19 の都道府県で 50%を超え、緊急事態宣言の対象となるステージ 4 の水準となっています。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 43 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

検証者所感

・オープニング

金平キャスターは「再確認しておきますが、記者会見は国民との対話の場であって政府の一方的発表の場ではありません。」とのコメントしていたが、記者会見で首相と対話する記者たちというのはいわゆる大手メディアの記者たちであり確かに彼らも国民を構成する一群ではあるといえるが、そもそも彼らは大手メディアに記者職として採用された人々であり、それは国民全体から見ても極めて偏りのある集団であるともいえる。

いずれにしても一般国民からすると記者会見に参加できるような記者というのは非常に縁遠い存在であるが、そうした縁遠い記者たちと首相の対話でもって「国民との対話」と胸を張って言える金平キャスターの自分たちの特権に無自覚な感性には驚きを感じた。

・【特集】河井案里参院議員に判決へ

特集の VTR 自体は良く出来たものであると思うが、スタジオでの議論で金平キャスターが何が何でも政権批判へともっていきこうと執念を見せつけてくるのが、なんというか残念な感じがしてしまう。

まして、今回の特集では取材にあたった増田記者が「裁判中なので推定無罪は尊重されるべき」とコメントしており、以下に本邦の検察が起訴した際の有罪率が極めて 100%に近いという実績を誇っているからと言っても、判決が出る前の被告の段階から犯罪者扱いする、それも公共の電波で被告をまるで犯罪者であるかのように扱うのは放送法以前に、近大文明社会、法治国家に生きる市民の在り方としてもいささか問題があるのではなかろうか。